

タンデム自転車利用のこれからと「可能性」



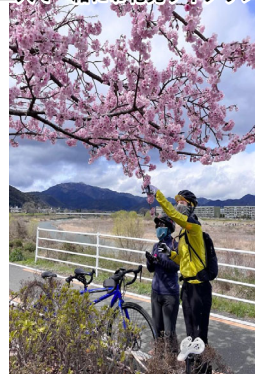
タンデム自転車との出会いと実績

タンデム自転車でのこれまで

- 2018年・・・視覚障がい者3名・健常者3名
車両2台大阪北エリア周辺で
月2回程度の壮行会を開催
- 2018年・・・淡路ロングライド150 完走
- 2020年・・・ロードバイククラブへの参加
- 2020年・・・オダックス近畿
神戸西ブルベ200km 完走
- 2021年・・・しまなみ海道サイクリング
- 2022年・・・和歌山競輪場で試走会の開催
アルプス安曇野センチュリーライド
160km完走
ボーイスカウトで体験会開催



二人で一緒にお花見サイクリング



タンデム自転車の特徴と可能性

- 一人でも自転車に乗れない人でも乗れる
障害をお持ちの方でもタンデム車で普通自転車と同等のライドができる。
- 体力差のある二人が同じスピードで走れる
力を補える。力を合わせる一体感が味わえる。
- 走行中に話せる。コミュニケーションが取れる。すぐに仲良く、より親しくなる
コミュニケーションの壁はなく、共に繋がり、共に走る感覚を共有することで会話が生まれる。



～タンデム自転車＝共に生きる豊かな暮らしと、体験の共有を可能とできるツール～

【現状と課題】

①乗り方



車両の普及や、パイロット（先頭の人）の経験が少ない。

もっと触れる機会を増やし、
パラサイクリング、子供・高齢者・パートナーや家族サイクリングへの活用。

③走る場所

45道府県の公道で走行可能。東京都、神奈川では走行不可
(走行可が一部サイクリングロードのみとなっている。)

SUSTAINABLE GOALS DEVELOPMENT



②使い方

複数人で乗れる自転車。

アクティビティーとしても乗り物としても、地球上の「誰一人取り残さない」乗り物の一つ。
人にやさしい乗り物として期待できる。



どこでも、だれでも、いつでも乗れる日本へ
全国解禁とさらなる環境整備が必要。

【新たな挑戦】

私達のビジョン 「タンデム自転車を知ってもらいたい・安全性を証明したい」
日本パラサイクリング連盟は、タンデム自転車の社会的な「可能性」を皆様に繋ぎます



2023年春 太平洋岸自転車道をつないじゃえプロジェクトにて太平洋岸自転車道を走破した和歌山の仲間と共に、

障害をお持ちの方・地域の方などと共に
タンデム自転車で太平洋岸自転車道を全走破する企画を進行中！

予定 2023年（令和4年）春
（令和5年4月29日から同年5月7日までの計9日間）
現在WEBページを作成中、今後の動きはこちらから

HPアドレス <https://pacificcyclingroad.jp/>



タンデム自転車の新たな可能性にチャレンジするため
どうぞ、暖かいご声援と 応援 お力添えを よろしくお願いたします！！